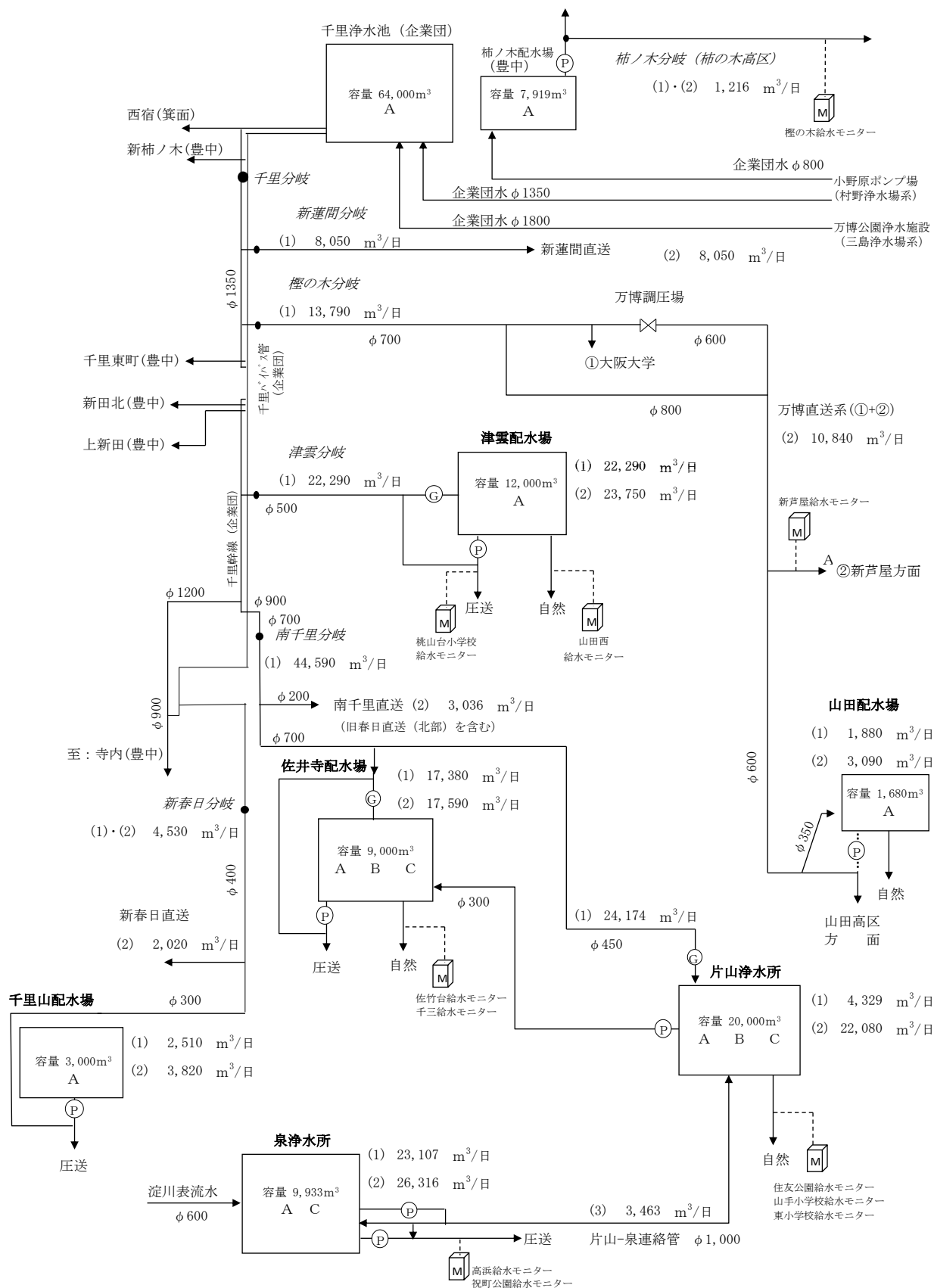


第2章 施 設

1. 受 配 水 系 統 図
2. 施 設 概 要
3. 導・送・配水管布設・撤去状況
4. 導・送・配水管延長
5. 導・送・配水管耐震化状況
6. 導・送・配水管経年化状況

1. 受配水系統図（令和7年（2025年）3月末現在）



凡 例

- (1) 令和6年度一日最大配水量日(7月8日)の受水量及び浄水量 A ……企業団水 自然 ……自然流下給水
(2) 令和6年度一日最大配水量(120,498m³) B ……地下水 (P) ……ポンプ加圧給水
(3) 令和6年度一日最大配水量日の泉浄水所への送水流量 C ……表流水 (G) ……小水力発電設備

2. 施設概要

泉浄水所

第4次拡張事業の中で建設に着手し、昭和39年(1964年)7月に地下水源による1日最大19,000m³の配水能力を有する浄水施設が完成した。その後、急増する水需要に対し、更なる水源を淀川表流水に求め昭和41年(1966年)6月から水処理を開始した。

平成9年(1997年)6月には高度浄水処理設備が完成し、高度浄水処理水を供給している。

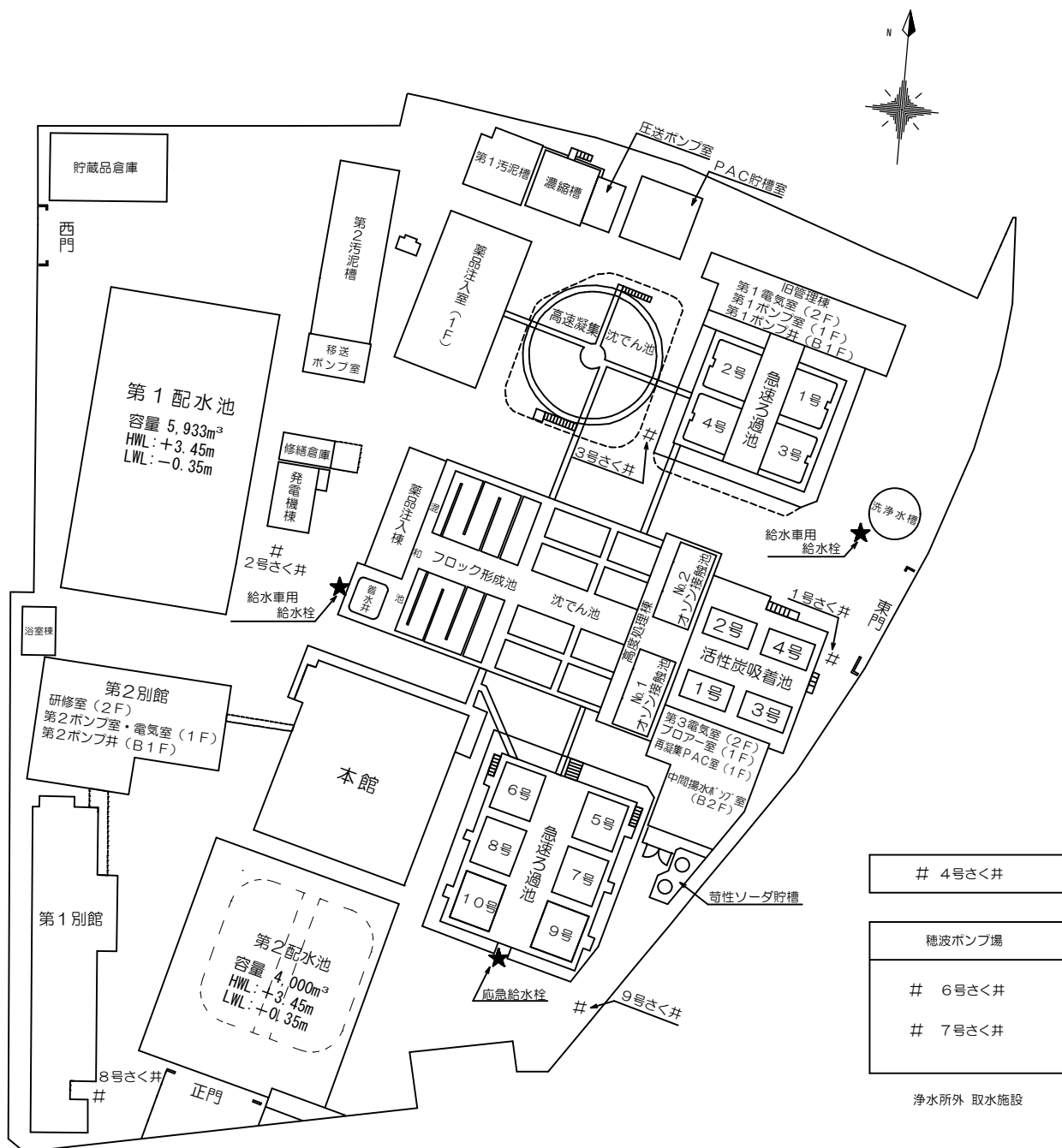
泉浄水所、片山浄水所間には、自己水の有効利用のため令和3年度(2021年度)からφ1000mm片山-泉連絡管を設け、より一層の安定給水を図っている。

なお、施設整備の方針に基づき、施設の老朽化に伴って、令和5年(2023年)9月に地下水処理を停止した。

所在地	吹田市南吹田3丁目3番60号
敷地面積	19,096m ²
水源	表流水
配水方式	ポンプ圧送方式
給水能力	29,900m ³

区分	施設	構造及び概要		数量
浄水施設	薬品注入室	鉄筋コンクリート造	地上1階	1棟
	PAC貯槽室	施設概要	鉄骨造 地上1階	1棟
			ポリ塩化アルミニウム注入設備 再凝集ポリ塩化アルミニウム送液設備	
		設備概要	ポリ塩化アルミニウム(PAC)注入設備	4台 2台
			ポリ塩化アルミニウム貯槽 PE製 内径2.71m×3.81m 有効容量 18m ³	2基
	表流水	着水井	鉄筋コンクリート造 6.0m×7.48m×3.6m 有効容量 123m ³	1池
		混和池	鉄筋コンクリート造 1.5m×11.0m×3.5m 有効水深 3.25m 有効容量 42m ³	2系統
			フラッシュミキサ 出力 2.2kW	6台
		ブロック形成池	鉄筋コンクリート造 11.0m×13.9m×3.5m 有効水深 3.0m 有効容量 420m ³	2系統
			フロキュレータ 出力 0.4～2.2kW	8台
	高度処理棟	沈でん池	鉄筋コンクリート造 上向流傾斜管方式、気圧式排泥装置 11.0m×19.7m×7.4m 有効水深 7.4m 有効容量 1,600m ³	2系統
		施設概要	鉄筋コンクリート造 地上3階、地下2階 中間揚水ポンプ室、調整池（地下2階～地上1階） 流量計室 再凝集ポリ塩化アルミニウム室、空洗ブローアーム室、苛性ソーダ注入設備 オゾン接触池、活性炭吸着池	1棟
			地上2階 オゾン発生室、第3電気室、再凝集攪拌室 地上3階 排オゾン処理室、排気・給気消音室、換気機械室	
		設備概要	オゾン処理設備 散気管 上下迂流2段向流接触方式	3台
			オゾン発生機 空気原料 空冷板型無声放電式 発生量 3.1kg/h	2池
			オゾン接触槽 6.0m×4.0m×8.05m 有効水深 6.4m 容量 153.6m ³	2池
			オゾン反応槽 6.0m×2.0m×8.05m 有効水深 6.2m 容量 74.4m ³	
			活性炭吸着設備 上向流流動層方式 ろ過面積 46.4m ² LV 11.0m/h 石炭系粒状活性炭 活性炭層厚 2.0m	4池
			中間揚水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ 出力 75kW	3台
			調整池 容量 450m ³ (No.1) ・ 500m ³ (No.2)	2池
			再凝集池 2.5m×2.5m×4.95m 有効水深 4.0m 有効容量 25m ³	2池
			排オゾン処理装置 特殊マンガン接触方式	2台

浄水施設	高度処理棟	設備概要	苛性ソーダ注入設備	前苛性ソーダ注入ポンプ 後苛性ソーダ注入ポンプ 苛性ソーダ貯槽 PE製 内径2.145m×2.54m 有効容量 8m ³	1台 1台 2基
			再凝集 ポリ塩化アルミニウム (PAC) 注入設備	再凝集ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ 再凝集ポリ塩化アルミニウム貯槽 PE製 内径1.42m×1.85m 有効容量 2m ³	2台 2基
	薬品注入棟	施設概要	鉄筋コンクリート造 地上1階 地上2階 地上3階	地上3階 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ室、次亜塩素酸ソーダ貯槽室 水質計器室、水質分析室 無停電電源室	1棟
		設備概要	次亜塩素酸ソーダ注入設備	中間次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 次亜塩素酸ソーダ貯槽 PE製 内径2.145m×2.54m 有効容量 8m ³	3台 2基
	急速ろ過池		鉄筋コンクリート造	7.3m×7.3m ろ過面積 53.29m ² 下部集水装置 ホイラー型 (4池) 有孔ブロック型 (6池)	10池
	移送ポンプ室	施設概要	鉄骨造地下RC造 地下2階 地上1階 地上2階	地上2階、地下2階 ポンプ室 活性炭供給機室 活性炭保管室	1棟
		設備概要	返送ポンプ 移送ポンプ 活性炭供給機	片吸込渦巻ポンプ出力 18.5kW 標準2階形スラリーポンプ 出力 5.5kW	2台 2台 1台
	圧送ポンプ室	施設概要	鉄骨造地下RC造 地下1階 地上1階	地上1階、地下1階 ポンプ室 電気室	1棟
		設備概要	圧送ポンプ	単段高圧スラリーポンプ 出力 30kW	2台
	第1汚泥槽		鉄筋コンクリート造	10.0m×10.0m×3.0m 有効水深 3.0m 有効容量 300m ³	1槽
	第2汚泥槽		鉄筋コンクリート造	30.0m×9.0m×3.3m 有効水深 3.0m 有効容量 800m ³	1槽
	濃縮槽		鉄筋コンクリート造	9.2m×9.2m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 200m ³	1槽
送配水施設	旧管理棟	施設概要	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上1階 地上2階	地上2階、地下1階 No.1ポンプ井 第1ポンプ室、計装用コンプレッサー室 第1電気室	1棟
		設備概要	配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 出力 75kW	1台
			送配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 出力 90kW	3台
	第2別館	設備概要	No.1ポンプ井	8.9m×17.4m×5.65m 有効水深 3.8m 有効容量 600m ³	1池
			鉄筋コンクリート造 地下1階 地上1階 地上2階	地上2階、地下1階 No.2ポンプ井 第2ポンプ室、第2電気室 研修室	1棟
		設備概要	配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 出力 180kW	4台
			No.2ポンプ井	4.2m×14.2m×5.65m 有効水深 3.8m 有効容量 215m ³	1池
		第1配水池		鉄筋コンクリート造 28.8m×23.0m×5.35m 有効水深 3.8m 有効容量 1,972m ³ 鉄筋コンクリート造 28.8m×22.0m×5.35m 有効水深 3.8m 有効容量 1,989m ³	2池 1池
	第2配水池		鉄筋コンクリート造	33.2m×43.2m×5.35m 有効水深 3.8m 有効容量 4,000m ³	1池
	自家発電設備		ディーゼルエンジン	出力 875kVA 6,600V 貯蔵量 4,000L A重油 燃料消費量 218L/h	1台
	洗浄水槽		ステンレス製	内径11.6m×15.0m 有効水深 3.5m 有効容量 370m ³	1基



泉浄水所 (S=1/1000)

※ 令5. 9 さく井からの取水停止

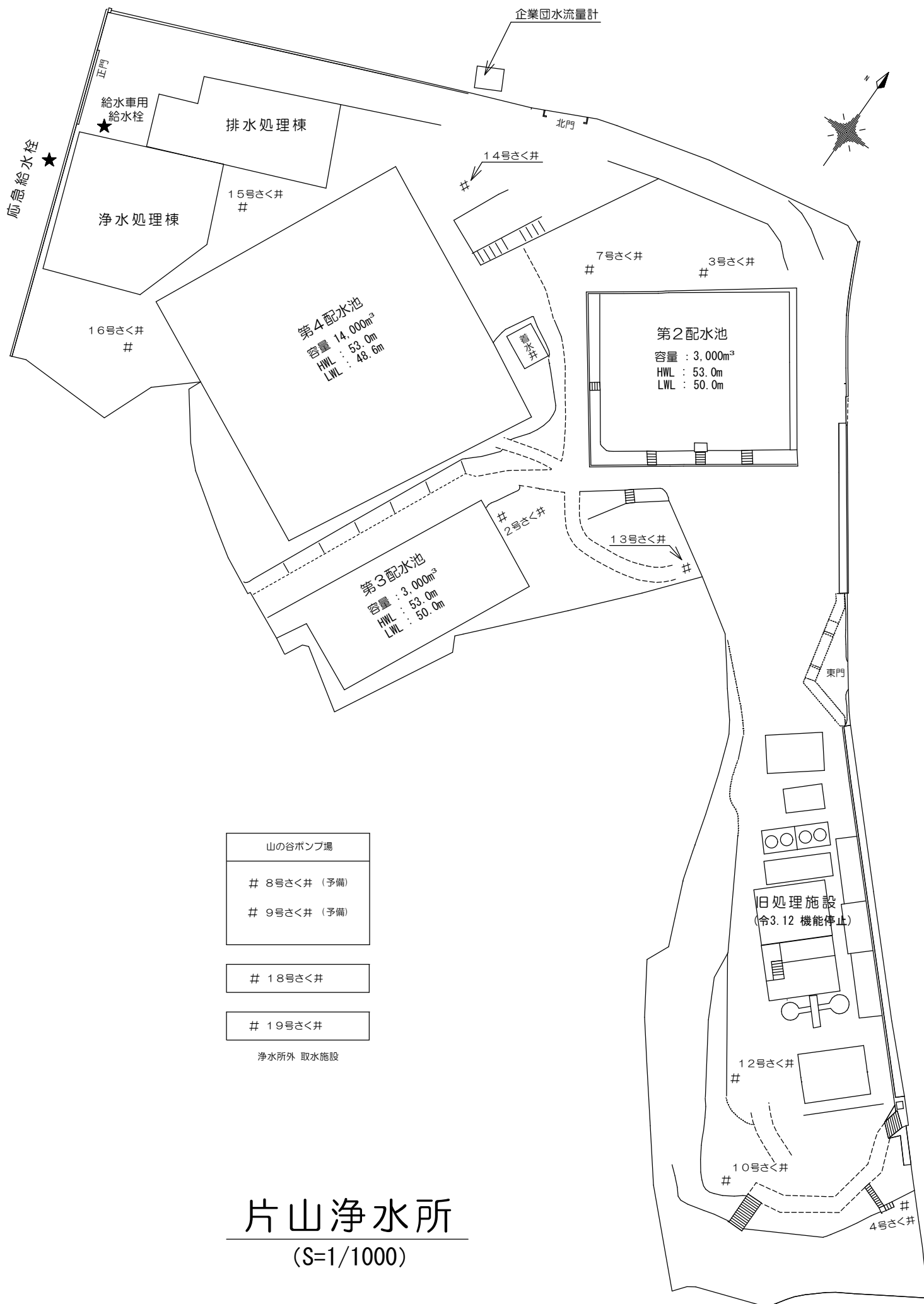
片山浄水所

片山浄水所は昭和26年(1951年)に建設され、大阪市から受水した浄水(水道水)を給水していたが、その後、増大する需要量に対処するため地下水処理施設を築造し、構内に井戸を掘り、現在では1日に12,810m³の処理が可能である。地域の発展に伴う配水池の増強を行い、泉浄水所の余剰水の有効利用並びに給水量の増加に対応して大阪広域水道企業団水を受水している。令和3年(2021年)12月には、老朽化した旧施設を停止し、新施設(槽浸漬型膜処理施設)による処理を開始した。

所在地	吹田市朝日が丘町26番10号(旧施設は25番1号)
敷地面積	23,200m ²
水源	地下水
配水方式	自然流下方式
給水能力	12,750m ³

区分	施設	構造及び概要	数量
浄水施設	浄水処理棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階	1棟
	原水井	鉄筋コンクリート造 7.35m×3.1m×1.7m 有効容量 33m ³	2槽
	前塩素接触池	鉄筋コンクリート造 7.35m×3.65m×1.7m 有効容量 38m ³	2槽
	混和池	鉄筋コンクリート造 3.75m×4.4m×1.7m 有効容量 15m ³	2槽
	混和池攪拌機	堅型攪拌機 φ350mm 2.2kW	2台
	膜浸漬槽(水槽)	鉄筋コンクリート造 7.35m×5.0m×6.5m 有効容量 192m ³	3槽
	膜浸漬槽(膜ろ過設備)	槽浸漬型セラミック膜 7列×24段×8ユニット	3系
	薬品注入設備	凝集剤注入設備	ダイヤフラムポンプ 出力 18W
		貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 0.5m ³	2槽
		次亜注入設備	前次亜用 一軸ネジ式ポンプ 出力 0.4kW
		後次亜用 一軸ネジ式ポンプ 出力 0.4kW	2台
		薬洗用 マグネットポンプ 出力 1.5kW	1台
		貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 4.0m ³	2槽
		硫酸注入設備	ダイヤフラムポンプ 出力 18W
		薬洗用 マグネットポンプ 出力 0.4kW	1台
		貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 2.0m ³	2槽
		苛性ソーダ注入設備	ダイヤフラムポンプ 出力 30W
		薬洗用 マグネットポンプ 出力 0.75kW	1台
		貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 4.0m ³	2槽
		重亜硫酸ナトリウム注入設備	マグネットポンプ 出力 0.75kW
		貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 4.0m ³	1槽
		チオ硫酸ナトリウム注入設備	マグネットポンプ 出力 0.4kW
		貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 1.0m ³	1槽
	膜ろ過水ポンプ	ステンレス製横軸渦巻ポンプ 出力 37kW	3台
	槽内水引抜ポンプ	スラリーポンプ 出力 11kW	2台
	洗浄水槽	鉄筋コンクリート造 7.35m×3.45m×2.05m 有効容量 46m ³	1槽
	洗浄ポンプ	ステンレス製渦巻ポンプ 出力 18.5kW	2台
	洗浄ブロワ	ルーツブロワ 出力 37kW	3台
	自家発電設備	ガスタービン発電機 出力 1250kVA 6,600V 貯蔵量 19,950L A重油 燃料消費量 542L/h	1台
送配水施設	佐井寺送水ポンプ	横軸渦巻ポンプ 出力 55kW	2台
	着水井	鉄筋コンクリート造 5.0m×7.0m×4.69m 有効水深 3.6m 有効容量 120m ³	1池
	第2配水池	鉄筋コンクリート造 27.4m×23.7m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 1,500m ³	2池
	第3配水池	鉄筋コンクリート造 30.4m×42.4m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 3,000m ³	1池
	第4配水池	鉄筋コンクリート造 58.5m×28.45m×5.7m 有効水深 4.4m 有効容量 7,000m ³	2池

排水施設	排水処理棟	鉄筋コンクリート造	地下1階 地上2階	1棟
	膜濃縮設備	膜濃縮装置	槽浸漬型セラミック膜 12列×11段	2系
		膜濃縮汚泥貯留槽	鉄筋コンクリート造 3.95m×2.0m×5.2m 有効容量 34m ³	1槽
		膜濃縮用洗浄水槽	PE製丸型タンク 有効容量 3.0m ³	1槽
		膜濃縮用膜ろ過水ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ 出力 0.75kW	2台
		膜濃縮汚泥貯留槽攪拌機	水中ミキサー 出力2.8kW	1台
		膜濃縮用洗浄ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ 出力 5.5kW	2台
		膜濃縮用洗浄ブロワ	ルーツブロワ 出力 7.5kW	3台
	脱水設備	脱水機	短時間型加圧脱水機 出力 7.4kW	2台
		脱水機用空気槽	円筒型鋼製タンク φ1.118 * 2.782	1槽
		汚泥打込ポンプ	一軸ネジ式ポンプ 出力 3.7kW	2台
		圧搾水ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ 出力 7.5kW	2台
		ろ布洗浄ポンプ	ステンレス製立型渦巻ポンプ 出力 5.5kW	2台
		ろ布洗浄水槽	PE製丸型タンク 有効容量 1.5m ³	1槽
	ケーキ搬出設備	No.1ケーキ搬出コンベア	トラフ型ベルトコンベア 出力 0.75kW	2台
		No.2ケーキ搬出コンベア	急傾斜コンベア 出力 1.5kW	1台
		ケーキホッパ	電動カットゲート式 出力 2.2kWx2	1基
	排水貯留槽	鉄筋コンクリート造	7.25m×3.0m×5.2m 有効容量 97m ³	1槽
	排水移送ポンプ	樹脂製水中ポンプ	出力 1.5kW	2台
	薬洗排水貯留槽	鉄筋コンクリート造	7.25m×12.6m×5.2m 有効容量 403m ³	1槽
	薬洗排水移送ポンプ	樹脂製水中ポンプ	出力 1.5kW	2台

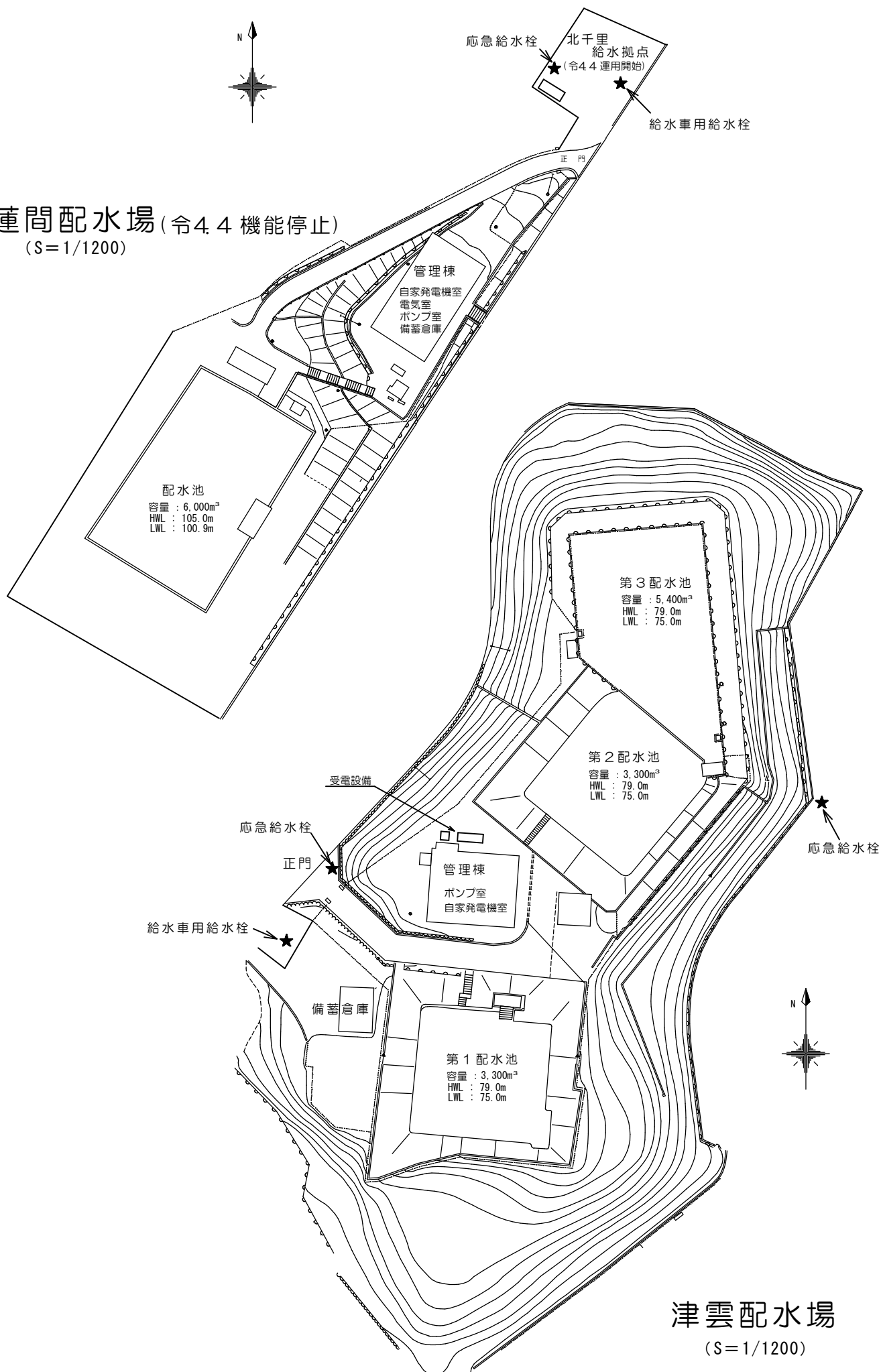


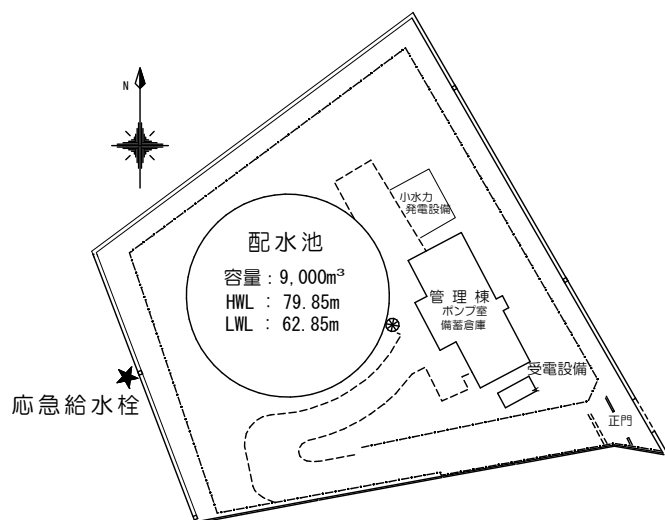
配水場等

名 称	所 在 地	敷 地 面 積
淀川取水場	大阪市東淀川区菅原1丁目1番50号地先	(北越コーポレーション(株)施設を賃借)
一津屋取水場	摂津市西一津屋700番1地先	21,340.26㎡
	(尼崎市、西宮市、伊丹市、大阪市、神戸市、大阪広域水道企業団、吹田市で共同管理)	
蓮間配水場	吹田市青山台3丁目46番1号	6,329.23㎡ (令和4年(2022年)4月機能停止)
津雲配水場	吹田市津雲台4丁目5番3号	19,362.02㎡
佐井寺配水場	吹田市千里山東4丁目13番9号	2,976.00㎡
千里山配水場	吹田市千里山西4丁目28番3号	3,941.33㎡
山田配水場	吹田市千里丘西15番15号	2,034.31㎡
万博調圧場	吹田市山田丘1番12号(大阪大学構内)	(大阪大学より借地)

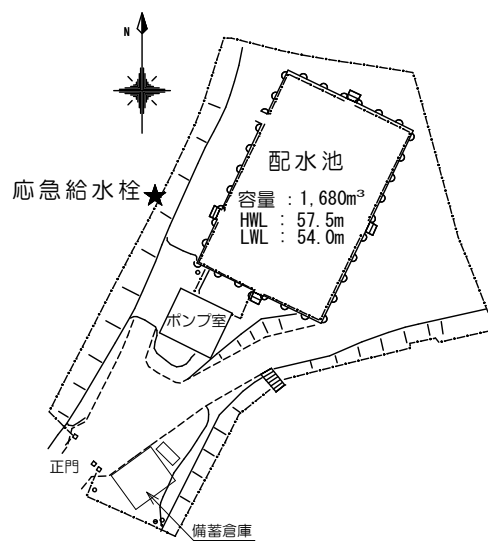
区分	名称	施設	概 要	数量
取水施設	淀川取水場 (令和6年6月30日取水停止)	取水塔	鉄筋コンクリート造 高さ10.8m 内径4.0m×7.0m 楕円形	1基
		取水管	鋳鉄管 内径800mm 延長 70.52m	2本
		取水ポンプ	両吸込渦巻型 85kW	1台
		沈砂池	鉄筋コンクリート造 11.75m×35.6m×3.2m	1池
		ポンプ室	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟
		送水ポンプ	両吸込渦巻型 350kW	1台
	一津屋取水場 (令和6年7月1日取水開始)	取水口	鉄筋コンクリート造 内型部4.50m 直線部12.00m 全長28.829m 小判形	1基
		取水暗渠	鉄筋コンクリート造 2.3m×2.3m	2連
		沈砂池	鉄筋コンクリート造 8.00m×37.00m	8池
		送水ポンプ室	鉄筋コンクリート造	1棟
		導水ポンプ	両吸込渦巻型 355kW	4台
送配水施設	蓮間配水場 (令和4年4月機能停止)	管理棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟
		配水池	鉄筋コンクリート造 33.5m×25.35m×5.45m 有効水深 4.1m 有効容量 3,000m³	2池
		配水ポンプ	片吸込渦巻型 11kW	3台
		エンジンポンプ	ディーゼルエンジン 30kW	1台
		自家発電装置	ディーゼルエンジン 80kVA 200V 貯蔵量 500L 軽油 燃料消費量 22.4L/h	1台
	津雲配水場	管理棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟
		第1配水池	鉄筋コンクリート造 30.7m×30.7m×5.35m 有効水深 4.0m 有効容量 3,300m³	1池
		第2配水池	鉄筋コンクリート造 30.7m×30.7m×5.35m 有効水深 4.0m 有効容量 3,300m³	1池
		第3配水池	鉄筋コンクリート造 32.0m×57.0m×25.39m×29.47m×4.75m(台形) 有効水深 4.0m 有効容量 5,400m³	1池
		配水ポンプ	両吸込渦巻型 45kW	4台
		自家発電装置	ディーゼルエンジン 200kVA 6,600V 貯蔵量 900L A重油 燃料消費量 47.1L/h	1台
	佐井寺配水場	管理棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟
		配水池	プレストレスコンクリート造 PCタンク 内径26.0m×18.5m 有効水深 17.0m 有効容量 9,000m³	1池
		配水ポンプ	両吸込渦巻型 37kW	3台
	千里山配水場	管理棟	鉄筋コンクリート造 地上2階建	1棟
		配水池	鉄筋コンクリート造 11.45m×38.0m×4.7m 有効水深 4.0m 有効容量 1,500m³	2池
		配水ポンプ	両吸込渦巻型 45kW	3台
	山田配水場	ポンプ室	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1棟
		配水ポンプ	片吸込渦巻型 18.5kW	1台
		配水池	鉄筋コンクリート造 13.72m×17.85m×4.25m 有効水深 3.5m 有効容量 840m³	2池
	万博調圧場	管理棟	鉄骨造 平屋建	1棟
		減圧弁室	鉄筋コンクリート造	1棟

蓮間配水場(令4.4機能停止) (S=1/1200)

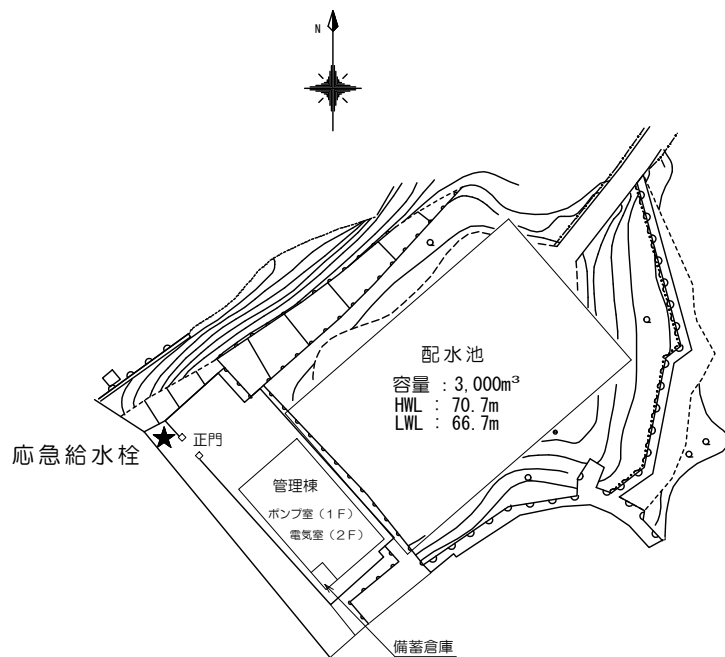




佐井寺配水場
(S=1/1000)



山田配水場
(S=1/1000)



千里山配水場
(S=1/1000)

自動連続水質監視装置（給水モニター）

施 設 名	配水系統	設置場所
樫の木 給水モニター	豊中市柿ノ木配水場 （大阪広域水道企業団）	豊中市新千里東町3丁目
新芦屋 給水モニター	万博調圧場直送 （大阪広域水道企業団）	新芦屋上204
山田西 給水モニター	津雲配水場 （大阪広域水道企業団）	山田西1丁目
桃山台小学校 給水モニター	津雲配水場 （大阪広域水道企業団）	桃山台1丁目
佐竹台 給水モニター	佐井寺配水場 （大阪広域水道企業団）	佐竹台4丁目
千三 給水モニター	佐井寺配水場 （大阪広域水道企業団）	千里山西2丁目
山手小学校 給水モニター	片山浄水所	山手町2丁目
住友公園 給水モニター	片山浄水所	原町4丁目
東小学校 給水モニター	片山浄水所	幸町20
高浜 給水モニター	泉浄水所	内本町2丁目
祝町公園 給水モニター	泉浄水所	江坂町3丁目

3. 導・送・配水管布設・撤去状況(令和6年度(2024年度))

(単位:m)

管種 口径(mm)	布設延長					受納(譲渡)等延長					撤去延長							増減数
	ダクタイル 鋳鉄管	鋼管	ビニール管	ポリエチレン管	合計	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ビニール管	合計	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ビニール管	ポリエチレン管	石綿管	合計	
1000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
700	21	0	0	0	21	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	20
600	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4	△ 3
500	1,982	0	0	0	1,982	0	0	0	0	0	11	482	0	0	0	0	493	1,489
450	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	254	0	0	0	0	257	△ 255
400	502	0	0	0	502	0	0	0	0	0	24	285	0	0	0	0	309	193
350	263	0	0	0	263	0	0	0	0	0	25	879	0	0	0	0	904	△ 641
300	791	0	0	0	791	435	0	0	0	435	25	618	0	0	0	0	643	583
250	248	2	0	0	250	0	0	0	0	0	64	503	0	0	0	0	567	△ 317
200	3,226	0	0	0	3,226	0	0	0	0	0	435	1,190	0	0	0	0	1,625	1,601
150	2,991	0	5	0	2,996	353	0	0	0	353	319	2,595	0	33	0	0	2,947	402
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	2,494	0	0	0	2,494	1,355	0	0	0	1,355	649	2,566	0	24	0	0	3,239	610
89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	74	0	0	0	74	1,106	0	0	0	1,106	51	11	0	7	0	0	69	1,111
50	3	0	23	1	27	0	0	0	129	129	3	0	0	8	11	0	22	134
40	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12,598	2	30	1	12,631	3,249	0	0	129	3,378	1,613	9,384	0	72	12	0	11,081	4,928

4. 導・送・配水管延長(令和7年(2025年)3月末現在)

用途 管種 口径(mm)	導水管				送水管			配水本管		
	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	その他	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管
1000	0	0	0	0	3,086	0	0	0	0	0
900	0	0	0	0	263	0	0	0	0	1,147
800	0	0	0	0	1,883	15	0	35	0	173
700	0	0	0	0	6,872	0	1,270	3,346	0	454
600	76	696	0	0	814	0	0	8,476	953	316
500	402	0	0	0	6,085	905	4	6,050	310	64
450	0	0	0	0	3,660	7	0	1,603	2,518	19
400	1,712	0	8	0	1,502	0	2	9,248	946	132
350	13	324	0	53	839	78	1	1,968	1,416	26
300	917	0	0	7	2,619	0	9	13,563	1,405	166
250	3	0	0	0	21	0	0	332	0	2
200	733	616	0	141	74	0	8	407	0	5
150	295	8	0	0	0	0	0	46	0	0
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	4	0	0	33	0	0
89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	4,151	1,644	8	201	27,722	1,005	1,294	45,107	7,548	2,504
合計	6,004				30,021			55,159		

配水支管						(単位:m)	
ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ビニール管	ポリエチレン管	石綿管	合計	口径 (mm)
0	0	0	0	0	0	3,086	1000
3	0	546	0	0	0	1,959	900
0	0	0	0	0	0	2,106	800
88	0	0	0	0	0	12,030	700
274	0	39	0	0	0	11,644	600
987	384	0	0	0	0	15,191	500
4,925	618	38	0	0	0	13,388	450
9,544	581	126	40	0	0	23,841	400
1,885	1,520	36	0	0	0	8,159	350
20,877	3,771	48	4	0	0	43,386	300
13,557	5,868	73	191	0	0	20,047	250
59,994	15,295	252	164	0	0	77,689	200
133,177	31,586	579	3,191	0	0	168,882	150
0	0	0	0	0	0	0	125
184,924	58,381	65	1,255	0	94	244,756	100
0	5	0	0	0	0	5	89
57,835	3,445	1	756	0	0	62,037	75
118	0	102	33,262	2,983	0	36,465	50
0	0	0	929	104	0	1,033	40
0	0	0	680	60	0	740	30
0	0	0	73	4	0	77	25
0	0	0	8	1	0	9	20
488,188	121,454	1,905	40,553	3,152	94	746,530	
655,346							

用途別管延長			(単位:m)	
年度 用途	令和5年度末 (2023年度末)	令和6年度末 (2024年度末)		
	導水管	3,893	6,004	
送水管	29,639	30,021		
配水本管	55,633	55,159		
配水支管	652,437	655,346		
合計	741,602	746,530		

仕切弁・消火栓設置状況			(単位:台)	
年度 用途	令和5年度末 (2023年度末)	令和6年度末 (2024年度末)		
	仕切弁	12,099	12,210	
消火栓	5,654	5,663		

5. 導・送・配水管耐震化状況(令和7年(2025年)3月末現在)

(単位:m)

用途 口径(mm)	導水管(A)		送水管(B)		配水本管(C)		配水支管(D)		基幹管路 (A+B+C)		管路全体 (A+B+C+D)	
		うち耐震管※1		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管
1000	0	0	3,086	3,086	0	0	0	0	3,086	3,086	3,086	3,086
900	0	0	263	0	1,147	1,139	549	544	1,410	1,139	1,959	1,683
800	0	0	1,898	1,587	208	206	0	0	2,106	1,793	2,106	1,793
700	0	0	8,142	2,981	3,800	2,241	88	4	11,942	5,222	12,030	5,226
600	772	0	814	388	9,745	4,791	313	44	11,331	5,179	11,644	5,223
500	402	401	6,994	4,375	6,424	3,972	1,371	7	13,820	8,748	15,191	8,755
450	0	0	3,667	6	4,140	133	5,581	61	7,807	139	13,388	200
400	1,720	51	1,504	1,173	10,326	7,717	10,291	1,749	13,550	8,941	23,841	10,690
350	390	0	918	823	3,410	971	3,441	73	4,718	1,794	8,159	1,867
300	924	254	2,628	911	15,134	10,623	24,700	8,677	18,686	11,788	43,386	20,465
250	3	0	21	2	334	22	19,689	1,472	358	24	20,047	1,496
200	1,490	11	82	25	412	386	75,705	21,893	1,984	422	77,689	22,315
150	303	181	0	0	46	44	168,533	45,485	349	225	168,882	45,710
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	4	4	33	33	244,719	72,391	37	37	244,756	72,428
89	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0
75	0	0	0	0	0	0	62,037	12,963	0	0	62,037	12,963
50	0	0	0	0	0	0	36,465	0	0	0	36,465	0
40	0	0	0	0	0	0	1,033	0	0	0	1,033	0
30	0	0	0	0	0	0	740	0	0	0	740	0
25	0	0	0	0	0	0	77	0	0	0	77	0
20	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9	0
合計	6,004	898	30,021	15,361	55,159	32,278	655,346	165,363	91,184	48,537	746,530	213,900
耐震化率	15.0%		51.2%		58.5%		25.2%		53.2%		28.7%	
耐震適合性 のある管※2	1,426		17,214		34,703		178,003		53,343		231,346	
耐震適合率	23.8%		57.3%		62.9%		27.2%		58.5%		31.0%	

※1 耐震管 … 地震に対する性能が評価された管種及び継手を使用した管路。

※2 耐震適合性のある管 … 耐震管に加え、管路の布設された地盤条件などを勘案して地震に対する性能が評価された管種・継手を含めた管路。（耐震適合率＝耐震適合性のある管÷管路延長）

6. 導・送・配水管経年化状況(令和7年(2025年)3月末現在)

(単位:m)

用途 口径(mm)	導水管(A)		送水管(B)		配水本管(C)		配水支管(D)		基幹管路 (A+B+C)		管路全体 (A+B+C+D)	
		うち経年管※		うち経年管		うち経年管		うち経年管		うち経年管		うち経年管
1000	0	0	3,086	0	0	0	0	0	3,086	0	3,086	0
900	0	0	263	263	1,147	1,147	549	549	1,410	1,410	1,959	1,959
800	0	0	1,898	32	208	173	0	0	2,106	205	2,106	205
700	0	0	8,142	3,811	3,800	1,907	88	1	11,942	5,718	12,030	5,719
600	772	696	814	380	9,745	3,881	313	306	11,331	4,957	11,644	5,263
500	402	0	6,994	2,205	6,424	2,150	1,371	1,361	13,820	4,355	15,191	5,716
450	0	0	3,667	2,454	4,140	3,453	5,581	5,355	7,807	5,907	13,388	11,262
400	1,720	1667	1,504	1	10,326	1,173	10,291	5,590	13,550	2,841	23,841	8,431
350	390	379	918	92	3,410	2,158	3,441	2,430	4,718	2,629	8,159	5,059
300	924	482	2,628	10	15,134	3,073	24,700	13,839	18,686	3,565	43,386	17,404
250	3	0	21	1	334	1	19,689	14,196	358	2	20,047	14,198
200	1,490	1,192	82	40	412	1	75,705	32,862	1,984	1,233	77,689	34,095
150	303	24	0	0	46	0	168,533	64,049	349	24	168,882	64,073
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	4	0	33	0	244,719	94,911	37	0	244,756	94,911
89	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	5	5
75	0	0	0	0	0	0	62,037	12,700	0	0	62,037	12,700
50	0	0	0	0	0	0	36,465	10,383	0	0	36,465	10,383
40	0	0	0	0	0	0	1,033	750	0	0	1,033	750
30	0	0	0	0	0	0	740	578	0	0	740	578
25	0	0	0	0	0	0	77	55	0	0	77	55
20	0	0	0	0	0	0	9	8	0	0	9	8
合計	6,004	4,440	30,021	9,289	55,159	19,117	655,346	259,928	91,184	32,846	746,530	292,774
経年化率	74.0%		30.9%		34.7%		39.7%		36.0%		39.2%	

※ 経年管 …地方公営企業法施行規則に定められた資産管理上の耐用年数(40年)を超過した水道管のこと。(経年化率＝経年管÷管路延長)
更新の対象となる管路とは必ずしも一致しない。